

## 資料配布の場所

1. 国土交通記者会
  2. 国土交通省建設専門紙記者会
  3. 国土交通省交通運輸記者会
  4. 筑波研究学園都市記者会
- 令和元年5月16日同時配布

令和元年5月16日  
国土技術政策総合研究所

## 下水道技術開発レポート 2018 を公表

～中核市規模の地方公共団体における技術ニーズ・新技術導入上の課題を明らかに！～

国総研は、下水道技術開発会議<sup>\*1</sup>における平成30年度の検討結果を「下水道技術開発レポート 2018」として公表します。本レポートでは、**中核市規模の地方公共団体における技術ニーズや新技術導入上の課題**とともに、**研究開発を重点化すべき技術の選定結果**や、下水道技術ビジョン<sup>\*2</sup>に位置づけた**ロードマップの進捗確認内容**などを掲載しています。

国総研では、引き続き、同会議による技術開発方針等の情報発信の他、技術ガイドライン・技術基準案の策定等により、下水道を支える技術開発と普及展開を支援していきます。

- \*1 下水道技術開発会議：下水道技術ビジョンのフォローアップとともに、同ビジョンを実現していくための技術開発の推進方策等の具体的検討を目的に国総研が設置した会議（平成28年1月設置、座長：国総研下水道研究部長）。
- \*2 下水道技術ビジョン：下水道の中長期的な方向性や未来像を示す「新下水道ビジョン」（国土交通省・日本下水道協会）の達成に必要な技術的目標等を示したもの（平成27年12月策定、最新は平成30年2月版）。11の技術開発分野毎の技術目標と技術開発項目に関するロードマップとともに、技術開発の推進方策等を提示。

### 1. 経緯

わが国の下水道は、人口減少社会の到来や災害リスクの増大、エネルギーの逼迫、施設の老朽化、運営体制の脆弱化など、多くの課題への対応が求められています。これらの課題に産学官連携の下で技術的側面からの対応方策を検討するため、国総研では「下水道技術開発会議」を設置・運営しています。

### 2. 下水道技術開発レポート 2018 の公表

下水道技術開発会議では、**下水道技術ビジョンの継続的なフォローアップの一環として、同会議における調査分析・検討結果について定期的にとりまとめて公表**しています。本レポートは、同会議における平成30年度の以下の成果をとりまとめたものです。

- ・中核市規模の地方公共団体における技術的課題・ニーズに関して調査・分析を実施し、直面している技術的課題のある主な分野として、管路の維持管理、管路更生、雨水対策等の結果を提示。
- ・中核市規模の地方公共団体における新技術導入上の課題に関する調査・分析を実施し、新技術の情報不足、実績・信頼性の不足等が課題になっている等の結果を提示。
- ・ロードマップ重点課題の選定により、研究開発の重点化方針を提示。
- ・ロードマップの進捗確認として、文献情報などを基に技術開発項目毎に、技術の開発段階等の情報を整理。

なお、本レポートは、国総研ホームページからダウンロード可能です。

【本レポート公開 URL】 <http://www.nilim.go.jp/lab/eag/gesuidougijyutsukaihatsukaigi.html>

#### （問い合わせ先）

国土技術政策総合研究所 下水道研究部 下水道研究官 南山 瑞彦  
下水道研究室 研究官 川島 弘靖

TEL : 029-864-3726 FAX : 029-864-2817 E-mail: nil-gesuidou@mlit.go.jp

下水道技術ビジョンの継続的なフォローアップの一環として、下水道技術開発会議における平成30年度の取組内容についてとりまとめ、公表します。

## ■ 中核市規模の地方公共団体における技術的課題・ニーズ、新技術導入上の課題に関して調査・分析を実施 [アンケート回答団体数: 48団体]

### ■ 技術的課題・ニーズ

⇒「すぐに解決が必要」または「1年以内に解決が必要」な技術的課題があるとされた主な技術分野  
「**管路の維持管理**」、「**管路更生**」、「**雨水対策**」

⇒「将来的に解決が必要」な技術課題があるとされた主な技術分野  
「**管路の維持管理**」、「**管路更生**」、「**雨水対策**」、「**地震対策**」、「**水処理**」、「**汚泥消化**」

### ■ 新技術導入上の課題

⇒新技術の導入検討を行っていない地方公共団体の主な理由  
「**新技術に関する情報不足**」、「**実績・信頼性の不足**」、「**現状では必要性がなかった**」、「**既存技術により対応可能であった**」 など

⇒一方、回答した地方公共団体のうち、**28%で新技術の導入検討が行われていた**。  
また、**導入検討が行われた新技術のうち、89%が採用された**。

## ■ ロードマップ重点課題の選定

同ビジョン中の技術目標のうち、研究開発を**重点化して実施すべきもの**を「**ロードマップ重点課題**」として選定(H30.8.1公表済)

### 1. ロードマップ重点課題 (短期～中期課題)

- ◆ **技術目標①1 人口減少時代に適した施設整備・管理【平成30年度追加】**
- ◆ 技術目標②2 施設管理の迅速化・低コスト化のための技術開発等
- ◆ 技術目標⑨1 下水道で地域バイオマスを活用する技術
- ◆ 技術目標⑩3 下水資源を活用したエネルギー生産技術
- ◆ 技術目標⑪1 下水道の消費エネルギー約1割削減に向けた技術

### 2. ロードマップ重点課題 (中期～長期課題)

- ◆ 技術目標③2 大規模地震を対象とした耐震対策手法、優先度評価手法
- ◆ 技術目標④1-1 局所的豪雨等に対応する雨水管理技術
- ◆ 技術目標⑤4 不明水の実態把握、影響評価と有効な対策の確立
- ◆ 技術目標⑦4 病原微生物の制御、⑦5 病原微生物の検出、監視システム
- ◆ 技術目標⑨3 リンなどの有用資源回収、⑨5 下水灰の肥料化

## ■ ロードマップの進捗確認

ロードマップに関連する技術開発の取組状況を整理するために、文献情報などを基にロードマップ技術開発項目毎に、技術の開発段階等の情報の整理を行った。